

今月のさがあお豆知識

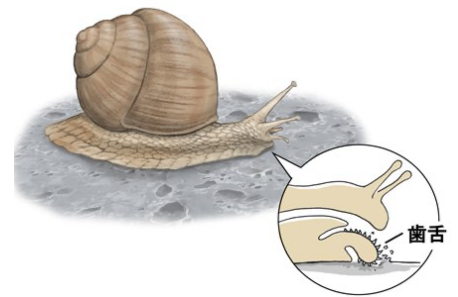
No.62

世界で一番歯がある生き物ってなーんだ？

なんとカタツムリなんです！！柔らかい体からは想像できませんが、歯舌（しぜつ）と言って一列80本並んだ歯が150列（計12000本）もあります。歯舌は「噛む」というよりも、大根おろし器のような働きをします。

コンクリートも食べられるほど丈夫な歯

カタツムリは主に植物の葉、野菜や果物、きのこ、苔などを食べていますが、カタツムリの殻の主成分でもある炭酸カルシウムを補うために歯舌を使ってザッザッと硬いコンクリートを食べることがあります。特に雨の日は、コンクリートから炭酸カルシウムが染み出してくるのでブロック塀に張り付いているカタツムリを見ることができます。しかし、赤ちゃんのときは歯舌が未発達で、柔らかいものしか食べられないので、飼うときは注意が必要です。



何度も生え変わる

カタツムリの歯はやすり状になっており、食事ごとに削れてしまうのが特徴です。それにも関わらず硬いものまで食べてしまうので、定期的にボロボロになってしまいます。しかし、カタツムリの歯は崩壊と再生を繰り返し、何度も何度も生え変わるので大丈夫なのです。人間の歯もそれくらい生え変わったらいいですね…。



あじさいの葉には毒がある

あじさいの葉にいるイメージがありますが、葉には毒があるので食べているわけではありません。カタツムリにとってあじさいの葉は身を隠したり、雨や風から耐え忍ぶために最適な環境らしいです。